

岩見沢市

緑の相談コーナーだより

No. 347

2014年 5月 1日 発行

〒068-0833 岩見沢市志文町 794 番地 いわみざわ公園 室内公園「色彩館」

ゲッケイジュ(月桂樹)

Laurus nobilis Linnaeus

ゲッケイジュは地中海沿岸原産のクスノキ科の常緑高木です。

ゲッケイジュという植物名を聞いてもピンと来なくても、オリンピックで勝者がかぶる月桂冠と聞けばイメージできる方は、多いのではないでしょうか。料理好きな方でしたら、ハーブの一種ローリエと言えば、なじみ深い植物と気づくかと思います。

古代ギリシアでは、ゲッケイジュはゼウスの息子で芸術・芸能の神アポローンの聖樹とされてきました。ギリシア神話に、以下のような物語があります。

『アポローンが、恋の神エロスが恋をつかさどる弓と矢で遊んでいるのを罵った。怒ったエロスは、アポローンに金の矢を放ち、河の神ベーネイオスの娘ダフネーに鉛の矢を放った。すると、アポローンはダフネーに激しく恋焦がれ、ダフネーはアポローンを厳しく拒絶するようになった。アポローンはダフネーを追いかけ続け、ついに逃げきれなくなったダフネーは父親であるベーネイオスに祈り助けを求めた。祈りは聞き届けら



れ、ダフネーは月桂樹に姿を変えてしまった。失意のアポローンは、ダフネーに自らの聖樹となるよう願い、それを聞き入れたダフネーは身体を揺すって枝を落とした。アポローンはその枝を編んで冠として常に身につけ、ダフネーへの変わらぬ愛の証とした』

・・・しかし、現在ではダフネ(*Daphne*)はジンチョウゲ属を指し、ゲッケイジュ属はラウルス(*Laurus*)と呼ばれる、という少々ややこしいことになっています。

ともあれ、アポローンを祭るピューティア大祭の勝者にアポローンを象徴する月桂冠が贈られるようになり、それがやがて古代オリンピックなどに広まり、月桂冠が勝利や栄光を象徴するようになりました。古代ローマでもこの考え方を受け継がれ、今日でもイギリス王家などが優れた詩人に授与する桂冠詩人の起源となっています。

枝葉を折ると清々しい芳香が漂い、香辛料や薬としても重宝されてきました。葉は月桂葉、実は月桂実という生薬名を持ちます。もっとも、ゲッケイジュは雌雄異株で、雄株と雌株が揃わないと実がなりません。

クスノキ科には温帯南部や熱帯に分布す

る植物が多く、日本では本州以南で随所にみられるクスノキやタブノキに代表されるように、その大半が常緑の木本です。

雨が多い暖温帶(日本では主に関東地方以西)に見られる、固く光沢のある葉の樹つまり照葉樹を主体とした森林は照葉樹林と呼ばれます。クスノキは日本の照葉樹林における代表的な植物のひとつです。欧米では照葉樹林は laurel forest(ローレル・フォレスト)または laurisilva(ラウリシルバ)と呼ばれ、いずれも「ゲッケイジュの森」を意味し、照葉樹の代表格としてゲッケイジュが持ち出されていることが見てとれます。奇しくも、大西洋のスペイン領カナリア諸島やポルトガル領マデイラ諸島のラウリシルバでは、ゲッケイジュと同属のラウルス・ノボカリエンシス(*Laurus novocanariensis*)が多くみられます。

§公園近況§

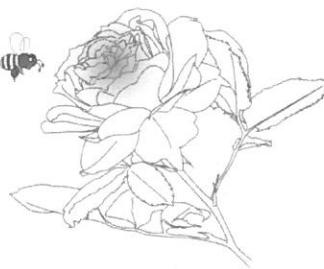
バラ園・・・バラは剪定作業の真っ最中。今年は昨年に比べて凍害が少なく、株も少しづつ株も大きくなってきたので剪定作業がとっても楽しいです。その後は土壤改良作業や施肥作業を行います。5月の中旬頃からは植物由来の忌避剤を週に1回散布し、病害虫の予防を行っていきます。今年も化学農薬を使用しないでシーズンを終えられるようになるには出だしが肝心。後手にならないよう気が抜けない季節です。

色彩館大温室・・・ピエール・ドゥ・ロンサール、エクセルサ、ファイルヘンブラウなどのつるバラが次々に開花し、室内の壁面がぐっと華やいでいます。カルミアや西洋シャク

ナゲは今月前半までが見頃でしょう。キョウチクトウが蕾をつけていますが、温度不足のせいかつるバラに追い越され、成長は非常にのんびりです。

色彩館南国温室・・・4月中旬にいったん花が途切れたブルグマンシアが、再び見頃に差し掛かるでしょう。同じ頃に剪定したガジュマルが、日射量が増えるにつれて活気づいてきました。緋色中輪のクジャクサボテンと交代した紅色大輪のクジャクサボテンが、今月上旬まで咲き続ける見込みです。切戻しが功を奏して再び咲き始めたランタナや、こっそり蕾をついているパキラやフィロデンドロンからも、目が離せません。

ひとつき ひとつバラ



文；石渡 杏奈
(いわみざわ公園バラ園)

イラスト；藤川 志朗
(イラストレーター)

第二回

ラージフラワード クライマー ローズ

ピエール・ドゥ・ロンサール

Pierre de Ronsard

作出国：フランス

作出者：メイアン

作出年：1988年

ハーディネスゾーン：Z5

交配：(Danse des Sylphes × Handel) × Kalinka, Climbing

花期：返り咲き



別名をエデン・ローズ '88とも呼ばれる、クラシックな花形が人気のつるバラです。花の中心は淡い桃色で外側に向かって淡くグラデーションになり、外弁はアイボリー。咲き始めは深いカップ咲きになり、咲き進むにつれて美しいクオーターロゼット咲きになります。満開時は大輪の花が株を覆い尽くし、大変豪華です。2006年には世界バラ会連合殿堂入りを果たし、世界中で愛されています。

品種名は「バラの詩人」「詩人たちの君主」などと呼ばれた16世紀ルネサンス期のフ

ランスで活躍した詩人ピエール・ドゥ・ロンサール(1524-1585)に因みます。ロンサールは頌歌(しょうか)の名手として知られるとともに、フランスにソネットを定着させた人物としても有名です。彼が愛する人に捧げてうたう頌歌にはバラがよく登場します。作出者のメイアンは、このバラのロマンチックな趣きに、ロンサールの詩を重ねたのでしょうか。

色彩館の大温室では4月下旬頃からこのバラが見頃を迎えています。是非うっとりと眺めてみてください。

4月の園芸相談から

Q； クンシランがなかなか咲きませんが、どうしたらいいですか？

A； しばしばお問い合わせをいただく件で、よくお聞きするとどなたも冬に暖かい場所に置いておられます。クンシランは最低気温5~10°Cの低温に数か月さらされないと花芽ができません。秋は最低気温が5°Cくらいになる頃まで外に置き、冬は夜間に寒くなる場所(但し5°C以下にならないこと)に置きます。寒い時期に水をやりすぎると根腐れの原因になるので、3~4日に1回を目安に、土がよく乾いたらたっぷり灌水します。蕾が見えてきたら水やりの間隔をやや短めにします。蕾が見えてすぐ暖房の効いた場所に移すと株元近くで葉の間に挟まって咲いてしまうので、十分に花茎が伸びるまで焦らずに待ちましょう。

いわみざわ公園 なぜなにの箱

～Q & Aコーナー～

今月は先月の続きで、アメリカ農務省耐寒性指標(USDA hardiness zone)と道内外の主要地区を一覧表にしてみました。

Z 3 (-39.9°C~-34.5°C)

士別市朝日

Z 4 (-34.4°C~-28.9°C)

音威子府、名寄、朱鞠内、白滝、占冠

Z 5 (-28.8°C~-23.4°C)

岩見沢、滝川、深川、旭川、富良野、北見、帶広

Z 6 (-23.3°C~-17.8°C)

札幌、留萌、稚内、紋別、網走、釧路、真狩

Z 7 (-17.7°C~-12.3°C)

函館、長万部、室蘭、苫小牧、根室、浦河、小樽、八雲 (道外)盛岡、秋田、長野

Z 8 (-12.2°C~-6.7°C)

松前、江差 (道外)甲府、福島、京都、新潟、仙台

Z 9 (-6.6°C~-1.2°C)

(道外)東京、名古屋、大阪、福岡

5月の市民園芸講座の御案内

5月11日(日) 9:30~12:00 いわみざわ公園の山野草を楽しもう

定員40人 無料

講師：北本 毅 様 (山野草研究家)

5月17日(土) 13:00~15:00 農薬の基本

定員40人 無料

講師：高橋 啓太 様 (丸和バイオケミカル株アグロ事業部札幌営業所)

5月18日(日) 13:00~15:00 知られざるオーキッドの世界

定員40人 無料

講師：川面 豊樹 様 (えるむ花園)

5月24日(土) 10:00~12:00 バラの植え床と病害虫対策

定員40人 無料

講師：工藤 敏博 様 (ローズグロワー)

5月25日(日) 13:00~15:00 小品盆栽・苔玉の楽しみ方

定員40人 無料

講師：吉川 茂 様 (岩見沢樹石会)

編集・発行 空知リゾートシティ株式会社 (いわみざわ公園指定管理者)

お問い合わせ先 いわみざわ公園 室内公園「色彩館」緑の相談コーナー

0126-25-6111